

ソフト事業		平成 27 年度実績に関する事務事業評価表									
1 基本項目	事 務 事 業 名	市街地活性化事業				担 当 部 署	課 名	商工観光課			
	予 算 事 業 名	市街地活性化事業					係 名	交通政策係			
	事 務 区 分	自治事務					電 話 番 号	0765-23-1380			
	事 業 期 間	開始年度	平成21年度	終了年度	当面継続		予 算 科 目	一般会計			
	目 標 名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち					款	7. 商工費			
	政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	1. 商工費			
	施 策 名	15 良好な都市の形成					目	2. 商工振興費			
総合計画	基本事業名	15-2 市街地整備の推進				アウトソーシング導入状況		導入済（協働）			
	根 拠 法 令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載			
2 事業概要	事 業 概 要	モータリゼーションの進展やライフスタイルの変化等、商業・市街地等を取り巻く環境が大きく変化する中、中心市街地の商店街では、空き店舗が増加するなど空洞化が深刻な問題となっており、地域の特色を活かしたまち全体及び商いのものの魅力づくりが求められている。このためには、従来の施策に加え、市がまち全体という視点での活性化策を講じ、市街地活性化やまちづくりのための市民の意識の醸成を図る。									
	対 象	中心市街地にある商店街や地域の方々など									
	手 段 （活動指標）	講演会を企画、実施したり、国交省等が主催する研修会や先進地視察へ参加する									
	意 図 （成果指標）	商店街や地域の方々から将来のまちづくりを考えるための意識の醸成・体制づくり・人材育成のための活動や、国土交通省等との打合せや関連研修会への参加等を行い、まちづくりの主役である人づくり、組織づくり、地域づくりを目指す。									
3 指標	指 標 名		単位	26年度		27年度			28年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画		
	活動指標	① 講演会開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1		
	成果指標	② 研修会等への参加数	回	1	2	1	2	200.0%			
	成果指標	③ 先進地視察回数	回	1	0	1	1	100.0%			
	成果指標	① 講演会への出席者数	人	200	150	200	130	65.0%			
	成果指標	②									
成果指標	③										
4 コスト情報	区 分		単位	26年度		27年度			28年度		
				予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額		
	支出内訳	①需用費	円	106,000	99,909	69,000	60,967	-39.0%			
		②委託料	円								
		③工事請負費	円								
		④負担金補助及び交付金	円	40,000		40,000					
		⑤その他	円	281,000	106,810	291,000	166,100	55.5%			
	支出合計（A）		円	427,000	206,719	400,000	227,067	9.8%	0		
	財源内訳	①国庫支出金	円								
		②県支出金	円								
		③地方債	円								
		④その他（使用料、雑入等）	円								
		⑤一般財源	円	427,000	206,719	400,000	227,067	9.8%			
収入合計		円	427,000	206,719	400,000	227,067	9.8%	0			
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	2	-33.3%				
	②年間所要時間	時間	900	900	900	900	0.0%				
	③人件費（②×@ 4,400 円）（B）	円	3,960,000	3,960,000	3,960,000	3,960,000	0.0%	0			
総 費 用（A+B）		円	4,387,000	4,166,719	4,360,000	4,187,067	0.5%	0			
5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容										
	◇市民意識の醸成に向けた市街地活性化等ための講演会の開催 ◇市街地活性化に向けた情報収集のための国土交通省（新潟市、長野市）等との打合せ及び関連研修会への参加										
6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目		評価結果		評価の理由			
	妥 当 性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	中心市街地の活性化・まちづくりには商店街・地域の住民・経済界等多くの方の意識を高める必要があるため。					
				目的の妥当性	1 妥当である	まちの空洞化に歯止めをかけるための中心市街地活性化に向けた議論と意識の醸成は不可欠であるため。					
				対象の妥当性	1 妥当である	行政だけでなく、住民・商店街・経済界等幅広く意識を醸成することが不可欠であるため。					
	有 効 性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	中心市街地活性化のための講演会の開催、国・県からの情報入手等を遂行できた。					
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	さらに多くの方の意識の醸成を図るため、国等の補助メニューの活用も検討する余地があるため。					
				上位施策への貢献度	2 普通	具体的な整備に取り掛かる前には、多くの方の意識の醸成が必要であるため。					
	効 率 性	A	A	コスト効率	1 高い	在来線等対策連絡協議会、商工観光課内の他事業との連携により、極力予算執行を抑制したため。					
				実施主体の適正化	1 適正である	中心市街地活性化・まちづくりには、商店街・地域住民だけでなく、経済界・市民の方々の意識醸成が必要であるため。					
				負担割合の適正化	1 適正である	現段階では、市が情報発信・情報収集する立場であるため、住民等へ負担を求めるものではないため。					
1 次評価 （課長総括）		A	A	計画どおり事業を実施することが適当		2 次評価	不要	【選択してください】			
後の 評価 結果 （課題及び今後の方針）	中心市街地の空洞化については、以前から言われており、市街地の活性化のための議論をさらに活発化するためにも、引き続き情報収集・意見交換を行うとともに関係機関等の意識の醸成を図る必要がある。				評価結果						

ハード事業		平成 27 年度実績に関する事務事業評価表									
1 基本項目	事 務 事 業 名	経田地区土地区画整理事業					担 当 部 署	課 名	都市計画課		
	予 算 事 業 名	経田地区土地区画整理事業						係 名	区画整理係		
	事 務 区 分	自治事務						電 話 番 号	0765-23-1026		
	事 業 期 間	開始年度	平成16年度	終了年度	平成28年度	予 会 計		一般会計			
	目 標 名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち						款	土木費		
	政 策 名	7 魅力ある都市基盤の充実						項	都市計画費		
	施 策 名	15 良好な都市の形成						目	土地区画整理費		
	基本事業名	15-2 市街地整備の推進						アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
根 拠 法 令						総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載				
2 事業概要	事 業 概 要	経田地区の住宅密集地である中央地区（3.5ha）で、公共施設の整備と宅地の利用増進を図ることを目的に土地区画整理事業を進め、道路や公園を整備することでコミュニティあふれるまちづくりを目指す。 平成19年5月に事業計画認可を取得し、平成20年3月の海側区域での仮換地指定に基づき、順次、家屋移転補償、上下水道工事及び道路工事を実施し、平成22年度において約1.6haを完了した。山側区域についても平成23年4月に仮換地指定を行い、海側区域と同様に事業実施しており、平成27年度に工事を完了し平成28年度に換地処分を目指す。									
	対 象	①事業区域となる経田中央地区内の住民（世帯）及び地区内の宅地について権利を有している者 ②事業区域内の道路									
	手 段 （活動指標）	区画道路の拡幅を進めるため物件移転補償を行い、また、県道沿いに関しても拡幅を進めるため県と協議をしながら、物件移転補償を行う。									
	意 図 （成果指標）	①住宅及び敷地が、幅員4m以上の道路に接するようになる。 ② 4 m以上の幅員を確保するようになる。									
3 指標	指 標 名	単位	26年度		27年度			28年度			
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画			
	① 住民説明会及び相談会の開催件数	回	5	3	5	5	100.0%	5			
	② 富山県との協議回数	回	7	4	5	6	120.0%	5			
	③ 家屋移転補償契約件数	件	5	4	1	5	500.0%	0			
	① 幅員 4 m以上の道路に接する区画の割合	%	95	97	100	100	100.0%	100			
	② 幅員 4 m以上の道路の割合	%	95	96	100	100	100.0%	100			
	③										
4 コスト情報	区 分	単位	26年度		27年度			28年度			
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額			
	支出内訳	①需用費	円	423,000	309,964	97,000	94,880	-69.4%	85,000		
		②委託料	円	17,486,000	9,417,600	25,044,159	24,936,560	164.8%	17,276,000		
		③工事請負費	円	10,200,000	16,426,800	39,852,000	39,852,000	142.6%	200,000		
		④負担金補助及び交付金	円	30,000	16,000	44,000	44,000	175.0%	200,000		
		⑤その他	円	148,050,000	127,330,449	38,494,841	37,449,195	-70.6%	1,117,000		
	支出合計（A）		円	176,189,000	153,500,813	103,532,000	102,376,635	-33.3%	18,878,000		
	財源内訳	①国庫支出金	円	24,335,000	22,500,000	26,645,000	34,820,000	54.8%			
		②県支出金	円								
		③地方債	円	41,000,000	28,400,000						
		④その他（使用料、雑入等）	円	106,710,000	99,300,000						
		⑤一般財源	円	4,144,000	3,300,813	76,887,000	67,556,635	1946.7%	18,878,000		
	収入合計		円	176,189,000	153,500,813	103,532,000	102,376,635	-33.3%	18,878,000		
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4		
		②年間所要時間	時間	7,800	8,000	8,000	5,800	-27.5%	5,700		
		③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	32,760,000	33,600,000	33,600,000	24,360,000	-27.5%	23,940,000		
	総 費 用（A+B）		円	208,949,000	187,100,813	137,132,000	126,736,635	-32.3%	42,818,000		
5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容										
	道路支障となる物件の移転補償を行い区画道路の拡幅整備を進めた。また、その他、支障となる公共物（電柱等）の移転協議を行い、付近住民の生活環境に支障が生じないよう事業を進めた。事業地区内に経田中央公園（街区公園）の整備を行った。										
6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由					
	妥 当 性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	公共性の高い事業である					
				目的の妥当性	1 妥当である	公共施設の整備と宅地の利用増進を進めている					
				対象の妥当性	1 妥当である	地区住民及び地区内の宅地を有している者を対象としている					
	有 効 性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	計画通りに進んでいる					
				類似事業の有無	1 なし	他の部局等において、同じような事務事業が存在しない					
				上位施策への貢献度	1 高い	都市基盤の充実に図れる					
	効 率 性	A	A	コスト効率	1 高い	事業実施の過程が適正である					
				実施主体の適正化	1 適正である	事業の実施主体は適正である					
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担（補助）割合は、適正である					
	1次評価 （課長総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当		2次評価	不要				
後（課題及び今後の方針）の評価結果	本事業は、安全で快適に暮らしやすいまちづくりの重要なハード事業である。工事関係は完了し、今後は換地処分に向けて進める必要がある。				評価結果						

施設管理		平成 27 年度実績に関する事務事業評価表										
1 基本項目	事 務 事 業 名		総合公園等維持管理事業				担 当 部 署	課 名		都市計画課		
	予 算 事 業 名		総合公園等維持管理事業					係 名		計画公園係		
	事 務 区 分		自治事務					電 話 番 号		0765-23-1030		
	事 業 期 間		開始年度	昭和56年度	終了年度	当面継続		予 会 計		一般会計		
	目 標 名		基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち					款		土木費		
	政 策 名		7 魅力ある都市基盤の充実					項		都市計画費		
	施 策 名		15 良好な都市の形成					目		都市公園管理費		
	基本事業名		15-2 市街地整備の推進					アウトソーシング導入状況		導入済（指定管理者制度）		
	根 拠 法 令							総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		
2 事業概要	事 業 概 要		魚津総合公園、早月川緑地及びミラージュハウスの維持管理について、指定管理者に委託する。 （ただし、公園施設の整備、改修は魚津市が施行する。）									
	対 象		魚津総合公園、早月川緑地、ミラージュハウス									
	手 段 （活動指標）		指定管理者への委託業務による管理・運営状況を確認									
	意 図 （成果指標）		指定管理者制度の導入により、民間事業者が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図っていくことで、施設設置の目的を効果的に達成する。									
3 指標	指 標 名		単位	26年度		27年度			28年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率	計画			
	活動指標	① ミラージュランド自主事業開催件数	回	12	12	12	12	100.0%	12			
	成果指標	② 修繕をした箇所	箇所	30	35	40	40	100.0%	40			
		③ 公園使用許可数	件	20	25	20	45	225.0%	20			
		① 総合公園等利用料収入額	千円	16,300	15,071	16,300	15,328	94.0%	16,300			
	成果指標	② 遊具等の利用者数	千人	300	300	300	300	100.0%	300			
		③ 修繕率	%	100	100	100	100	100.0%	100			
	4 コスト情報	区 分		単位	26年度		27年度			28年度		
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額				
支出内訳		①需用費	円	500,000	497,880	500,000	381,240	-23.4%	500,000			
		②委託料	円	52,315,000	52,223,200	50,916,000	50,898,057	-2.5%	50,000,000			
		③工事請負費	円	20,000,000	19,276,920	36,000,000	14,357,704	-25.5%	4,500,000			
		④負担金補助及び交付金	円				351,000					
		⑤その他	円	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	0.0%	1,600,000			
支出合計（A）		円	74,415,000	73,598,000	89,016,000	67,588,001	-8.2%	56,600,000				
財源内訳		①国庫支出金	円									
		②県支出金	円	14,962,000	14,862,000							
		③地方債	円									
		④その他（使用料、雑入等）	円	1,984,000	2,051,773	1,984,000	2,072,314	1.0%	1,984,000			
		⑤一般財源	円	57,469,000	56,684,227	87,032,000	65,515,687	15.6%	54,616,000			
収入合計		円	74,415,000	73,598,000	89,016,000	67,588,001	-8.2%	56,600,000				
人件費		①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4			
		②年間所要時間	時間	1,060	1,060	1,060	800	-24.5%	800			
		③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	4,452,000	4,452,000	4,452,000	3,360,000	-24.5%	3,360,000			
総 費 用（A+B）		円	78,867,000	78,050,000	93,468,000	70,948,001	-9.1%	59,960,000				
5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容											
	・ 指定管理者への委託業務による管理・運営状況を確認。 ・ 施設の老朽化により計画的に修繕を行なった。屋外便所改修、園路修繕、木橋撤去改修を実施。											
6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由						
	妥 当 性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市が所有する都市公園等のため						
				目的の妥当性	1 妥当である	市が所有する都市公園等のため						
				対象の妥当性	1 妥当である	市が所有する都市公園等のため						
	有 効 性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	修繕計画に基づき実施したため						
				類似事業の有無	1 なし	他の課等で実施していないため						
				上位施策への貢献度	1 高い	まちづくりには都市公園等は必要なため						
	効 率 性	A	A	コスト効率	1 高い	最小限の予算で実施しているため						
				実施主体の適正化	1 適正である	指定管理者制度を導入しているため						
				負担割合の適正化	1 適正である	指定管理者と分担割合を定めているため						
	1次評価 （課長総括）	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当			2次評価	不要				
	後（課題及び今後の方針）	平成18年度から、魚津総合公園、早月川緑地及びミラージュハウスの維持管理を指定管理者制度へ移行し、民間活力による施設維持管理運営を図っている。受託者が各種イベントを企画し、やる気や積極性があり望ましい姿であるが、施設全体が老朽化しているため、指定管理者との修繕箇所分担割りに基づいた修繕工事は必要不可欠である。				評価結果						

施設管理		平成 27 年度実績に関する事務事業評価表									
1 基本項目	事務事業名	都市公園等維持管理事業					担当部署	課名	都市計画課		
	予算事業名	都市公園等維持管理事業						係名	計画公園係		
	事務区分	自治事務						電話番号	0765-23-1030		
	事業期間	開始年度	昭和56年度	終了年度	当面継続			會計	一般会計		
	総目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち						款	土木費		
	政策名	7 魅力ある都市基盤の充実						項	都市計画費		
	施策名	15 良好な都市の形成						目	都市公園管理費		
	基本事業名	15-2 市街地整備の推進						アウトソーシング導入状況			導入済（協働）
根拠法令						総合計画等への記載			総合計画実施計画に記載		
2 事業概要	事業概要	都市公園等を憩いの場として市民が安心、安全に利用できるように、都市公園等（都市公園・開発広場）の維持・管理、都市公園施設管理（遊具・樹木・芝生・トイレ等）を行う。									
	対象	都市公園、開発広場									
	手段（活動指標）	雑草の草刈、樹木の剪定・雪囲い、遊具の点検・保守、施設の補修。									
	意図（成果指標）	管理が行き届き、清潔で安全に都市公園等を利用できる状態を保つ。									
3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度			
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画			
	活動指標	① 除草回数（延べ回数）	回	52	52	52	52	100.0%	52		
	成果指標	② 遊具の点検回数	回	1	1	1	1	100.0%	1		
		③ 修繕を行った件数	件	40	44	40	34	85.0%	40		
		① 適正に管理されている都市公園等数	箇所	93	93	93	93	100.0%	93		
		②									
4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度			
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額			
	支出内訳	①需用費	円	4,900,000	4,592,829	4,898,000	4,353,050	-5.2%	4,847,000		
		②委託料	円	24,655,000	24,641,048	25,500,000	25,480,009	3.4%	26,000,000		
		③工事請負費	円	3,500,000	2,800,440	1,750,000	1,717,200	-38.7%	1,500,000		
		④負担金補助及び交付金	円	70,000	67,000	70,000	67,000	0.0%	70,000		
		⑤その他	円	472,000	225,145	467,000	330,245	46.7%	467,000		
		支出合計（A）	円	33,597,000	32,326,462	32,685,000	31,947,504	-1.2%	32,884,000		
	財源内訳	①国庫支出金	円								
		②県支出金	円								
		③地方債	円								
		④その他（使用料、雑入等）	円	824,000	937,397	826,000	987,209	5.3%	826,000		
		⑤一般財源	円	32,773,000	31,389,065	31,859,000	30,960,295	-1.4%	32,058,000		
		収入合計	円	33,597,000	32,326,462	32,685,000	31,947,504	-1.2%	32,884,000		
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3		
		②年間所要時間	時間	1,380	1,380	1,380	1,200	-13.0%	1,200		
		③人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	5,796,000	5,796,000	5,796,000	5,040,000	-13.0%	5,040,000		
	総費用（A+B）	円	39,393,000	38,122,462	38,481,000	36,987,504	-3.0%	37,924,000			
5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容										
	雑草の草刈、樹木の剪定・雪囲い、遊具の点検・保守、施設の補修を実施。										
6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由					
	妥当性	B	C	自治体関与の妥当性	2 検討の余地あり	開発広場については地元にも協力してもらいたいため					
				目的の妥当性	1 妥当である	市が所有している都市公園のため					
				対象の妥当性	1 妥当である	市が所有している都市公園のため					
	有効性	B	B	目標達成度	1 高い	苦情・要望には迅速に対応できており達成度は高い					
				類似事業の有無	1 なし	他の課では同様の事業がないため					
				上位施策への貢献度	2 普通	適正な維持管理は、良好な都市の形成、美しい景観づくりに貢献している					
	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	最小限の予算で実施しているため					
				実施主体の適正化	1 適正である	市が所有している都市公園のため					
				負担割合の適正化	1 適正である	市が所有している都市公園のため					
1次評価（課長総括）	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり		2次評価	不要					
後の評価（課長及び今後の方針）	都市公園等は市民の憩いの場となっており、利用に関して適切な管理が求められている。植栽管理のほか公演の遊具についても、事故が起きないように点検業務を実施することが重要である。				評価結果						